

私が今年の学校生活において、努力したことは三つある。

まず一つ目は、部活動である。今年は、コロナ禍で三月から六月中旬まで全く活動ができなかった。そんな状況の中でもできることを探し、リモート演奏という形で合奏した。私は、そのリモート合奏で動画の編集を担当した。一人一人の映像と音声を合わせる作業にはとても時間がかかったが、映像編集の技術を得ることができた。

又、九月には全日本ブラスシンフォニーコンクールにて、中部予選を通過し、全国大会への出場を決めた。このコンクールは、普段出場している全日本吹奏楽コンクールが中止になったことを受けて、初めて出場したコンクールだった。ブラスシンフォニーコンクールは、吹奏楽コンクールとは異なり、演奏の技術力だけではなく、表現力やステージの構成なども審査される。そのため、普段とは違う仕上げ方を非常に制限された時間で行うこととなったが、効率的な練習方法や部員全員の団結で、とても楽しいステージを作り上げることができた。

二つ目は、学校紹介動画の作成だ。学校主催のClass Onという探究活動で、フジテレビで活躍したマイアミ啓太さんから、インターネットにおける情報発信について講演を受けた。その希望制の事前学習課題として、学校紹介動画の作成があった。そこで私たちは五人でチームを結成し、オンラインで構成等を考えて作り上げた。アニメ風の動画で、製作時間の都合からプレスコを行ったが、この時にリモート演奏での音声編集技術が役に立った。マイアミ啓太さんや、他の生徒、先生からも好評で、ホームページに掲載していただいた。

三つめは、モデルロケットの開発だ。これは、Discovery Saturdayという探究活動で行っている。モデルロケットは、発射後にパラシュートを開いて機体を回収することで、発射成功となる。ライセンスを取得して初めて製作したロケットは、機体の質量が大きくて高く飛ばず、パラシュートも開かなかったので失敗してしまった。その後シミュレーターで計算して作った機体は、質量も小さくなってとても高く飛び、パラシュートも無事に開いて、三十秒を超えて滞空した。まだ改善点は多く、滞空時間や高度ももっと伸ばせるように、五月の全国大会に向けて励んでいきたい。

来年は大学合格に向けて、受験勉強に励みたいと思う。